

プログラム 第1回日本神経病理学会近畿地方会 2009年11月28日(土)

<標本展示> 13:00~14:30 (第3実習室)

<口演> 14:45~16:15 (第1講義室)

<教育講演> 16:20~17:00 (第1講義室)

14:40~14:45

開会挨拶: 京都府立医科大学大学院医学研究科 分子病態病理学 伏木 信次

一般演題(口演)

14:45~15:30

座長: 新宅 雅幸先生(大阪赤十字病院 病理部)

1. 頭蓋底 chondroid chordoma 2症例の電顕的、免疫組織化学的検討:

とくに “microtubules within rough ER” について

○新宅 雅幸¹⁾、前野 健一郎¹⁾、岡部 英俊²⁾

1) 大阪赤十字病院 病理部、2) 滋賀医科大学附属病院 中央検査部 病理部門

2. 神経限局性血管炎と考えられる一生検症例

○伊東 良太¹⁾、木村 雅友¹⁾、佐藤 隆夫¹⁾、橋本 重夫²⁾、湯上 春樹³⁾、布川 知史³⁾、岩倉 倫裕³⁾

1) 近畿大学医学部附属病院病理部、2) PL病院、3) 近畿大学医学部脳神経外科教室

3. 結核性髄膜炎として加療された汎髄膜脳脊髄炎の一部検例

○伊東 恭子¹⁾、山田 丈弘²⁾、中川 正法²⁾、伏木 信次¹⁾

1) 京都府立医科大学大学院医学研究科 分子病態病理学、2) 京都府立医科大学大学院医学研究科 神経内科学

15:30~16:15

座長: 伏木 信次先生(京都府立医科大学大学院医学研究科 分子病態病理学)

4. 発熱を契機に多巣性病変を認め、再発寛解した後に進行型へと移行し、全2年の経過をたどった、散在性微小梗塞の53歳女性例

○辰己 新水¹⁾、山本 徹¹⁾

1) 大阪府済生会中津病院 神経内科

5. コルヒチンミオパチーの1例

○中野 智¹⁾、中村 聖香¹⁾、西井 誠¹⁾、金子 鋭¹⁾、日下 博文¹⁾

1) 関西医科大学 神経内科

6. 46歳 Holoprosencephaly 患者脳にみられた amyloid-independent NFT

○堀 映¹⁾、Oehmichen, M²⁾

1) 福祉村病院・長寿医学研究所、2) Schleswig-Holstein 大学 Campus Luebeck・法医学施設

教育講演

16:20~17:00

座長: 伏木 信次先生(京都府立医科大学大学院医学研究科 分子病態病理学)

筋強直性ジストロフィーにおける中枢神経病変とCTGリピートの相関性

伊東 恭子(京都府立医科大学大学院医学研究科 分子病態病理学)

17:00~17:05

閉会挨拶: 大阪赤十字病院 病理部 新宅 雅幸先生